

西鉄バス北九州・JR九州が連携し、

門司駅の窓口隣接および乗務員施設の整備を進めます

西日本鉄道株式会社(代表取締役社長 林田浩一/以下、西鉄)のグループ会社である西鉄バス北九州株式会社(代表取締役社長 吉田透/以下、西鉄バス北九州)は、九州旅客鉄道株式会社(代表取締役社長 古宮洋二/以下、JR九州)との連携施策の一環として、2026年4月23日(木)より、門司駅前に設置している西鉄バス定期券販売窓口をJR門司駅みどりの窓口横に移転し、新たに「門司駅定期券販売所」として営業を開始します。また、JR門司駅のバックヤードの一面を西鉄バス北九州の乗務員休憩所として整備し、バスの乗務員の待遇改善およびバス運行の効率化を図ることで、門司駅における交通結節機能の強化に取り組んで参ります。

1. 連携の背景

西鉄とJR九州は、2019年9月に「輸送サービスにおける連携に関する覚書」を締結し、お客さま目線での利便性の高い輸送サービスの実現に取り組んでいます。この覚書に基づき、2022年3月にはJR戸畑駅で両社のサービス窓口の隣接化を実現しており、今回の門司駅での取り組みは2例目となります。

地方都市では人口の減少や少子高齢化が進む中、バスと鉄道の連携強化による公共交通の利便性向上が重要な課題となっています。また、交通事業者は、限られた経営資源の中で効率的な運行体制を構築しながら、乗務員の労働環境改善にも取り組むことが求められています。

2. 具体的な取り組み内容

① 窓口の移転・隣接化

バスと鉄道の窓口が隣接することで、両交通機関に関する手続きや問い合わせが一か所で可能となり、利便性の向上に大きく貢献します。

- ・ 移 転 日: 2026年4月23日(木)
- ・ 移 転 先: JR門司駅みどりの窓口横
- ・ 営業時間: 平日 10:00~18:00(13:00~14:00 は昼休み)
- ・ 休 業 日: 水曜・日祝日 (その他年末年始、GW、お盆等休みの場合あり)

※移転のため、現在の門司駅前定期券販売所は、4月20日(月)をもって営業を終了し、4月21日(火)、22日(水)の2日間は臨時休業といたします。

※4月23日(木)より、施設名称を「門司駅定期券販売所」といたします。

※門司駅整備イメージ



参考)戸畑駅定期券販売所(1例目)



②乗務員休憩所の整備

JR 門司駅のバックヤードの一部を、西鉄バス乗務員の休憩所として整備し、4 月 1 日より供用を開始いたします。これにより、乗務員の待遇改善およびバス運行の効率化が期待されます。

3. 今後の展望

両社は今回の取り組みを通じて、公共交通の利便性向上を目指します。今後も駅舎の有効活用や窓口機能の集約など、お客さまの利便性を第一とした連携施策を積極的に推進し、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築に貢献してまいります。交通事業者間の連携による相互補完的なサービスの提供は、地域の交通インフラを支える重要な施策です。誰もが利用しやすい公共交通の実現に向け、両社は引き続き協力体制を強化して参ります。